

土木機械設備技術研修会(二回目)の開催報告



(一社)日本建設機械施工協会中国支部では、事業推進の一環として11月18日(火)に昨年度に続き「土木機械設備技術研修会」を開催しました。今回は国土交通省土師ダム管理所のご協力を頂き管理設備を見学し、設備の保守点検に携わる会員から13名の参加を頂きました。なお、当研修会は、土木施工管理技士、RCCM、技術士資格取得者の継続学習制度等の学習プログラムとして認定を受け、参加者に受講証を発行しております。

当日は、最初に土師ダム管理所の職員の方から施設概要と、国の維持管理の実態について説明を頂いた後、設置後40年経過した設備の現場を視察し、老朽化が懸念される施設の維持管理の必要性や重要性等について認識を深めると共に、今後の「適切な維持管理のあり方」について意見交換を行いました。このような機械設備の維持管理にかかる本研修会は今回で二回目であり、今後も、多様な設備見学、具体的な維持管理の方法等について研修の内容を充実させ、点検・整備のあり方や長寿命化に向けた手法を展開するための研修会を実施していく予定です。

なお、研修会の開催にあたり国土交通省の関係者の方々にはご協力誠に有り難うございました。

○研修日程(14時00分～16時30分)

1) 施設の概要説明：土師ダム管理所

①ダム管理施設について

②メンテナンスの実態(点検、整備の頻度等)について

2) 現地視察

- ・クレストゲート、選択取水設備、オリフイスゲート、低位放流設備、予備ゲート

3) 意見交換

○活発な意見交換やアンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。

○施設の環境について特に関心のあった点(複数回答)



老朽化、改善、改造等

- ・外気に触れている部分のサビが目立っていたが、思ったより構造物の状態が良い
- ・老朽化は進行しているが、その部分のメンテナンスが重要だと感じた
- ・延命化に努力されていることが良く理解できた
- ・メンテナンスが難しいので技術力が必要となる
- ・改造、増設等に苦労されているように感じる
- ・メンテナンス作業中であったため、業者に聞き取りできた
- ・更新履歴がよくわかった
- ・40年経過しているが管理されている事がよく分かった
- ・改造、増設等に苦労されている様に感じた
- ・古いダムであってもよく整備されている様であった
